



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2023年5月6日発行 第5号

ワシントン日本語学校
校長 三原 洋一

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411



『学ぶ習慣づくり』を

校長 三原 洋一

美しい若葉の緑が目にも染みる5月となりました。この時期、どこに行ってもきちんと整備された街の美しさは素晴らしいものがあります。

授業日も5回目を迎え、どの学年の子どもたちも生き生きと主体的な学びを進めています。これもひとえに保護者の皆様の支援のお陰と感謝しています。

『子どもたちの幸せのために、しっかりとした「生きる力」を育てたい。』という思いは、今も昔も変わることのない全ての教職員の願いであり、全ての保護者の願いであろうと思います。今、子どもたちには、Society 5.0 と呼ばれる時代に対応できる新しい「生きる力」が必要になってきます。

この「生きる力」を確実に身につけるために大切な『学ぶ習慣づくり』があります。

学ぶ習慣づくりは、学校では意図的・計画的に展開していますが、家庭でも学ぶ習慣づくりが求められます。ここでは、この家庭での習慣づくりの要点をいくつかあげてみたいと思います。

○多様な体験の機会と場の共有を親子で

机の上で身につく知識も大切ですが、体験から得られた知識がより生活を豊かにすることはみなさんご存じのことだと思います。子どもは、本来知的好奇心に満ちあふれている存在です。「わかった」「できた」という達成感や成就感に触れる機会があってこそ、はじめて学ぶ喜びや楽しさを実感できるのです。このことが次への学びの意欲につながり、学びが習慣化されます。学校教育では限界のある生活体験や社会体験、自



然体験等を家庭で行うことは、間違いなく学びの習慣づくりの基盤となり得ると考えます。

○子ども自身が自分を好きになるように

家庭で学ぶ習慣づくりが定着するには、自己肯定感や自尊心をもった子どもに育てることがポイントです。先週号でお話したように、「最後までよくやったね」「きっと最後までやれると信じてたよ」など、子どもの自己肯定感や自尊心が高まるような温かいまなざしや声かけは、子どもの居場所を安定させますし、子どもが自らの生活や自分自身をかけがえのない人間として大切にしようとしめます。

○考えることのおもしろさや楽しさを

学ぶ習慣づくりのあり方を検討するときに、考えることのおもしろさや楽しさが大きな要素となります。「なぜ、どうして、どうなってるの」という子どもの純粋な問いかけに時間と手間をかけて学ぶ楽しさに

火をつけ、学ぶ習慣づくりを定着させられるのは教師だけでなく、子どもたちの身近にいる保護者のみなさんです。

家庭は、家族とのふれあいを通じて子どもの豊かな人間性を培う最も基本的な場であり、安らぎと憩いのある場所です。家庭での学ぶ習慣づくりは、必ず自らを生かし、社会や集団に貢献できる「生きる力」をもった子どもの育成につながるものと考えています。

家族で『学ぶ習慣づくり』について話し合う機会を是非もって頂きたいと思います。



6年実力テストの様子

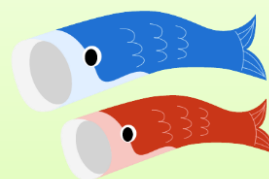
生徒会が始動しました！

本年度最初の生徒会会議が29日の昼休みに開かれました。生徒会の目的、委員の役割、会議、連絡方法などを確認し、新委員と顧問の紹介後に三役を選出しました。

会 長 高2B 小寺優蘭、横井英奈さん

副会長 高2A 田島秀平さん

書 記 高1 高松りあさん

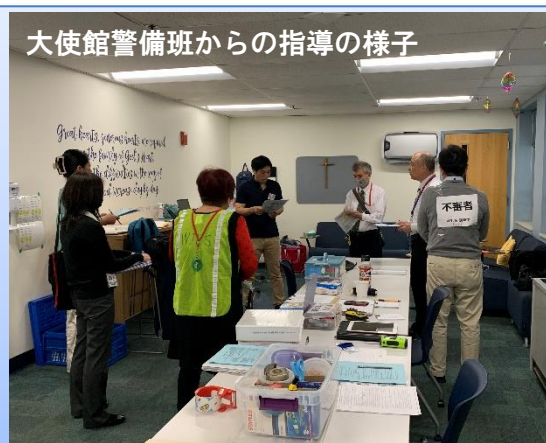


今年の生徒会活動は、4年ぶりに復活する朝の「挨拶運動」（5月6日、13日）でスタートします。目的は、全校児童・生徒に今年の生徒会委員を知ってもらい、WJLSの学校の7ルールを振り返りながら、楽しい学校生活ができるようにと呼びかけることです。これからしっかりと活動を盛り上げていってほしいと思います。

避難訓練（不審者侵入）

29日は、不審者の侵入を想定した訓練で、各学級で避難またはロックダウンを行いました。どの学級も真剣に取り組んでいました。今回は大使館の警備班の方に訓練に参加していただき専門的なご指導を受けることができました。警備班の方からは、児童生徒の命を守ることが学校の最大の使命であること、マニュアルですべてはカバーできないため、臨機応変に対応することが大切であること等をご指導いただきました。

大使館警備班からの指導の様子



<5月・6月の主な行事>

5月 6日 避難訓練③（トルネード）
管理運営委員会
13日 教職員・保護者懇談会 特別授業
20日 個人面談①（希望）

5月27日 個人面談②（希望）
6月 3日 個人面談③（希望）
避難訓練（火災）
10日 実力テスト保護者説明会（小3・6）

